

生活介護 くるみ

穏やかな「チームくるみ」も卒業生を迎え、賑やかなくるみになりました。色々なタイプの方がいらっしゃるため、3月、4月は職員も右往左往でしたが、お互いによやく少し慣れ、得意なことや苦手なことにも対応できるようになりました。他事業所から来られたお兄さんお姉さん、卒業したばかりの方、走るのが大好きな方、じっと静かにしていた方等々、これからはさらに、一人一人の個性と向き合い、工夫を重ねていきたいと思えます。



入所式。ようこそ、はとわーくへ！
全事業所が集まって、皆でお祝いしました。



みんなで草むしり。
とってもきれいになりました！
お掃除もやっています。自分たちで使うところは、自分たちで！



こいのぼりを作りました、ちぎって、貼って、元気に泳いでいます。



雨の季節となりましたが、お天気の良い日はお散歩に出かけ、季節の風を感じています。

短期入所 さらい・ここあ

短期入所「さらい」「ここあ」は単独短期入所で、受け入れ人数は6人と8人です。利用希望者数が増え、現在はご希望通りに利用できない状況となり、大変申し訳なく思っています。利用希望は多く、また、緊急受け入れも行うため、「もういっぱいなんです」と言わざるを得ないことが多く、必要性をひしひしと感じています。

前回の通信にも載せましたが、人の数の問題、人の質の問題、報酬の問題、環境の問題・・・

それらを目の当たりにしている私たちにできることは何か・・・

社会資源としての必要性と実際の現場の様子、あらわになる課題点、そして今、できること、みえていることの報告と今後の提案。それを一体どこに？誰に？伝えていけばよいのでしょうか。

伝え先のないこと、伝えても実感してもらえないこと、が一番の課題かもしれません。



研修

交通安全協会より移動式の交通安全教育車『ふれあい号』に来ていただき、運転適性検査を行いました。シュミレーターを使い、ハンドル操作を行いながら画面に出るマークの色によってアクセルやブレーキ操作を行うというものでした。マークの色を正確に判断し、的確に瞬時に操作する、簡単なようで意外と難しいものでした。

日頃気づかない自分の弱点もわかりました。

検査結果を参考に更に安全運転を心掛けていきたいと思えます。



寄附のお礼

川曲町にお住いの方よりたくさんのタオルをいただきました。ありがとうございました。

<編集後記> 右の写真はある日の雨上がり。生活介護が終わる頃、急に振り出した大雨に利用者さんが濡れてしまわないよう細心の注意を払って送迎へ。戻ってきたら、はとわーくのくるみの建物を包むように大きな虹。大雨に心洗われ、大きな虹に心癒されて。。。。



昨年は、群馬医療福祉大や群馬パース大学、権利擁護センター、消防署、前橋市危機管理課等、色々な所から講師を招き研修を行いました。

虐待防止や接遇は様々な側面から考察を深めなければと思います。研修は一度実施したから大丈夫、ではなく、何度でも繰り返し行うことで、虐待を未然に防いだり、適切な接遇ができていくと実感しています。



はとわーく通信

令和6年6月発行 第21号

発行者： 社会福祉法人はとわーく
〒371-0823

群馬県前橋市川曲町 176 番地 1 TEL027-289-3514 FAX027-254-0185

Email : hatowaku@wonder.ocn.ne.jp

HP : http://hatowaku.or.jp/



令和6年度報酬改定

「令和6年度報酬改定」が行われました。障害福祉の報酬改定・制度改定とは、社会情勢を踏まえて行われる、報酬・制度の見直しのことです。社会のニーズの変化に合わせて原則3年に1度見直しが行われています。



報酬改定ってなぜ行われるのでしょうか？

障害者自立支援法（現・障害者総合支援法）の施行から17年が経過し、障害福祉サービスの利用者は約150万人、国の予算額は約2兆円となり、施行時と比べるとそれぞれ約3倍以上となっています。ニーズの変化や医療的ケアの必要性など、障害のある人を取り巻く支援課題、事業所運営や職員を取り巻く課題は変わり続けています。このような変化に合わせて、事業の報酬体系や指定基準などは定期的に見直され続けてきました。見直しの頻度は3年ごとですが、必要に応じて臨時で実施されることもあります。



令和6年度の報酬改定ではどんなところが論点になったの？

1. 障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり
2. 社会の変化等に伴う障害児・障害者のニーズへのきめ細かな対応
3. 持続可能で質の高い障害福祉サービス等の実現のための報酬等の見直し



1について具体的には

- ・障害者が希望する地域生活を実現・継続するための支援の充実
- ・医療と福祉の連携の推進
- ・精神障害者の地域生活の包括的な支援

2について具体的には

- ・障害児に対する専門的で質の高い支援体制の構築
- ・障害者の多様なニーズに応じた就労の促進

3について具体的には

- ・処遇改善加算の一本化
- ・基本報酬の見直し
- ・各種様式等の簡素化・標準化

こういった改定は、現実的に自分達の生活に直接関係がないと、漠然としてよく理解できないことがほとんどだと思います。私たち事業者も緊急対応であったり、医療的ケアのある方の支援や強度行動障害のある方の支援に関して報酬単価が上がったことを数字でみて、国はそういったことを評価しているのか、と理解しました。

障害児、障害者、高齢者等それぞれの現場で抱えている問題、また障害のある方ご本人やご家族が抱えている問題にはそれぞれ違いもありますが、そういった現場や当事者の困ったを知ってもらい、そこを改定してほしい。そう願う時、何ができるのだろう・・・と頭を抱えてしまいます。せめて、私たち障害児・者の支援に関わる者が一人一人の困ったに向き合い、障害福祉サービスの実態調査にしっかり協力すること、声をあげられる機会には必ず表明していくこと、だけはしていきたいと思えます。

ある日の給食



パン、豚肉とグリーンピースのカレー煮 ほうれん草のお浸し トマト寒天 きのこのクラムチャウダー



ちらしずし さつま揚げと大根の煮込み お吸い物 イチゴゼリー



たけのご飯 エビフライ ジャーマンポテト 玉葱と人参のマリネ 春の味噌汁



春のキャベツと桜エビの Pasta レタスサラダ かぼちゃとひき肉のスープ フルーツヨーグルト

キッチンスタッフが毎日工夫を凝らして作っています。栄養バランスを考えながら、刻みやペースト等、細かい食形態に対応し、季節感のある行事食も楽しみの一つです。

居宅介護 ここみ

新型コロナウイルスが5類になって1年が経ちました。移動支援や行動援護、同行援護といった外出の支援が増え、特に土日の支援に関してはお引き受けできなことも多々あります。需要と供給のアンバランスさを実感していますが、その差はどんどん開いている現状です。希望する人が希望する支援を受けられるよう、目の前のことから取り組んでいきたいと思ひます。

12月・・・職員のためのストレッチ・視覚障害者向けストレッチ

＜研修後の感想＞・利用者さんの介助をするため、常に体調管理や体力をつけることには気を使っています。・利用者さん自身も自宅で足踏みをしたり、プールで歩いている方もいらっしゃいます。

研修の内容

1月・・・排便について

＜研修後の感想＞・なんとなく話題にしにくいことですが、とても大切なことだと思ひました。・トイレでの姿勢も関係すると知りすぐにできることだと思ひました。



2月・・・嚥下と口腔衛生について

＜研修後の感想＞・歯磨きで歯や口の中の衛生環境を守ること、咀嚼などの口を動かすことによる脳への刺激について学ぶことができました。嚥まずに飲み込んでしまう利用者さんも多いので咀嚼してもらうにはどのようにすればよいのか、あらためて考えました。

3月・・・救急救命

＜研修後の感想＞・コンビニにもAEDがあること、またAEDが設置されているコンビニにはステッカーが貼ってあることを初めて知りました。・そのような場面に遭遇したら、自分の判断がその人の命を守ることもできる、と考えると、しっかり学び、活かせるようにならなければと思ひました。



生活介護 ぷれも



成人式を行いました。誕生から今までのスライドショーはご家族の愛情に溢れ、職員の心もあたたかくなりました。



イケアにお出かけ。中でランチしました。



上里カンターレ、ガトーフェスタハラダ・・・お菓子がいっぱいありました！



春になり、お天気の良い日にグループに分かれて外出をしています。

IKEA、上里カンターレ、めんたいパーク・・・ガトーフェスタハラダでは工場見学もしました。

一人一人配慮しなければならぬこともあるため、全員でのお出かけではありませんが、小グループに分かれ、職員数名と余裕を持って外出を楽しんでいます。これからも、それぞれの「楽しみ」を模索していきます。



放課後等デイサービス みらい

みらいは他の事業と違い、毎年、全員に変化があります。1年生から2年生になったり、小学生から中学生、中学生から高校生になったり。ご家族と一緒に成長を感じられることは職員にとっても大きな喜びです。学校は毎年担任の先生が代わりますが、みらいではずっと一緒にみていける、それも醍醐味だなと思ひます。皆さんの成長は素晴らしく、職員もみんなと一緒に成長していかなければ！！



お花見に行きました。桜は満開！春を感じます。



ゼリーにホイップクリームをトッピング中！いつになく真剣な表情です。なんといっても、自分で作ったおやつは、最高！



太鼓の達人！画面を見ながら、一生懸命に太鼓をたたきます。すごい集中力！



サイコロ上手にふれるかな？



音楽療法。タンバリンでごあいさつ！



生活介護 えるも

日々の活動はグループに分かれたり、みんなで一緒に活動したり、一人一人が楽しめるように工夫しながら取り組んでいます。仕事も集中して行うことで達成感を感じてもらい、散歩や屋外での活動でリフレッシュしています。夏になる前のこの時期は、雨が降らなければ、気持ちよく活動ができるので、季節を感じながら楽しんでいます。



線路の横にある公園。電車が通るとみんな一斉に手を振ります。



お花見に行きました。桜は満開！



紙飛行機を飛ばしました。誰の紙飛行機が一番飛ぶかな。勢いをつけて、手から離す、という動作はむずかし〜。



さかなつり。魚も釣り竿もお手製です。狙った魚がつかれるかな？



色とりどりのあじさいの花

共同生活援助 あんど

あんどのメンバーみんなで桐生が丘公園に行ってきました。お天気もよく、気持ちの良い一日でした。車いすの方、ペースト食の方もいらっしゃるの、下見に行ったり、お弁当の準備をしたり、一人一人の特性にあったものをそろえたりと車に乗り込むまでが大変ですが、出発したらあとは楽しむのみ！車の中でも職員と一緒に歌ったりお話をしたりと楽しく過ごし、どの時間も笑顔がいっぱいでした。



公園の中で、みんなでピース！



お弁当、最高〜！



帰りにみんなでマック。それぞれに好きなものを選んでおいしくいただきました。

